

曇りや雨でも効率的発電

次世代太陽電池 県内代理店募る

脱炭素社会の実現に向けた事業を推進する沖縄CO₂削減推進協議会が、次世代太陽電池「ペロブスカイト」を販売する県内の代理店を募集している。従来のシリコンの固まりをスライスした太陽電池と異なり、鉛とヨウ素、臭素などを混ぜ合わせた素材をガラス基板に吹き付けて製造。曇りや雨の日でも従来の太陽光パネルより効率的に発電ができ、設置費用も抑えられるのが特徴だ。

(政経部・銘一哲)

CO₂削減協

協議会は建築物が1年間に消費する1次エネルギー消費量の収支をゼロにする「ZEB(ゼブ)」を推進。公共施設への太陽光発電の整備、無料のCO₂削減診断

などに取り組んでいる。ペロブスカイトは桐蔭横浜大の宮坂力特任教授が発明。従来の太陽電池の製造過程で必要だった1400度の温度を100度程度に



ペロブスカイトの販売代理店を募集する沖縄CO₂削減推進協議会の瑞慶覧長臣会長(右)と知念勇喜事務局長=11月30日、南城市

抑えられる。発電効率の良さに加え、製造によって発生する二酸化炭素の排出量も抑えられることから協議会が普及を目指している。ガラスパネルの一部が隠

れた状態でも発電でき、室内の光でも発電できるなど、従来の太陽電池よりも光に強く反応する特徴を持つ。協議会は、シリコンを使った太陽電池に比べ、雨の日に2倍の発電量があることを確認している。

従来の製品は雨水の跡や木の葉などの飛来物でパネルの一部が覆われると発電が止まるため、パネル上に水や異物が残らないように架台で傾斜を付ける必要がある。一方、ペロブスカイトは平置きが可能で、設置費用が抑えられるという。

製品は中国で製造し、太

陽光パネル輸入販売業のモリベニ(那覇市)が輸入。協議会が特約店となり、1・2坪×60坪のペロブスカイトを販売する代理店を募集している。

協議会の瑞慶覧長臣会長は「電気料金の値上がりなどで多くの人が苦しむ中で、費用を抑えて導入できるペロブスカイトの需要は高いはず」とメリットを強調した。製品の値段などの問い合わせは協議会、電話0988(9888)9301。